

MEMORIAL HALL YOKOHAMA

THURSDAY, 19TH OCTOBER

AT

7 P.M.

GRAND VIOLIN
CONCERT

BY

MISS KATHLEEN PARLOW

WORLD'S GREATEST WOMAN

VIOLINIST

AT THE PIANO

MR. THEODORE FLINT

PROGRAMME.

1. Concert D-major op 35 Tschaikowsky.

Allegro Moderato.

2. Sonata E-major Haendel.

Allegro,

Adagio Cantabile,

Largo,

Allegro non troppo.

INTERVALE.

3. Ave Maria Schubert.

Hungarian Dance Brahms-Joachim.

Souvenir de MoscowWieniawsky.

4. Nocturne Chopin.

Caprice Paganini.

Polonaise A-major Wieniawsky.

At the Piano;

Mr. THEODORE FLINT.



家術藝属専音高器音蓄本日 露社云
史女ローパンリスカ

演奏曲目

一、司伴樂、に長調、作品三十五……………チャイコフスキー作曲

アレグロ、モデラート

二、ソナタ、ほ長調……………ヘンデル作曲

アレグロ、アダジオカンタービレ、ラールゴ、アレグロ、ノン、トロツボ

休憩

三、(イ) アベ、マリア……………シューベルト作曲

(ロ) ハンガリアンダンス……………ブラームス、ヨアヒム作曲

(ハ) スーベニア、ド、モスコ……………キニアウスキー作曲

四、(イ) ノクターン……………シヨバン作曲

(ロ) カプリース……………バガニニ作曲

(ハ) ポロネーズ (イ長調)……………キニアウスキー作曲

ピアノ伴奏・セオドル、フリント氏

十月十九日午後七時

横濱開港紀念會館にて開會

世界第一の女流バイオリニスト

カスリン・パーロー女史大演奏會

プログラム

主催

パーロー女史後援會

後援

横濱貿易新報社

女流提琴家

パーロー女史に就て

山田耕作氏談

モード、パウエル逝て後の女流提琴家としてはカスリン、パーロー女史を挙げねばならぬ。パウエル女史は興行師を夫に持つて居た爲めに實際の技倆以上に彼女の聲名は宣傳せられて居る傾がないでもなかつたが、

現在に於て女流提琴家として獨特の境地にある、カスリン、パーロー女史の特徴は華やかに弾くミシヤ、エルマン氏とヴァイオリンの狂い獅子なりと稱されて居る、荒削りな力強いトーシヤ、ザイデル氏との中間を行くのがパーロー女史ではあるまいかと思ひます。

彼女の容貌は澄んだ理智の眼光と透徹した理解力の持主でありまして演奏の態度のうちにも豪放大膽な點が御座います。

其の音量の大きい事、音色の豊かな事、其の用法の豪膽な事には驚歎せざるを得ません、女性的特徴の繊細な點よりも寧ろ熱情的な、沈痛的な響きがあるやうに覺えます。

エルマンを聞きデニバリストに敬し更に亦ピアストロに酔された吾々の傾聴に價する立派なものである事を斷言します。女史の藝術を永久に記録するため、ニッポノホンがレコードに收められたことは音楽向上のために頗る快心に堪へぬ次第である、女史は去つて後も其偉大な藝術に接することの出来るのは音楽愛好家のために大なる幸福と云うべきである。